

# 平成25年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況(6月4日調査)

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	24.9 (92%)	131 (55%)	3.7 (-0.1)	32.6 (-0.6)	5.7 (-0.7)
	前年	24.4	101	3.3	26.5	5.1
	平年	27.1	239	3.8	33.2	6.4
ひとめぼれ	本年	22.5 (88%)	147 (74%)	4.1 (+0.6)	35.0 (+2.4)	5.9 (-0.5)
	前年	23.2	95	3.4	28.1	4.9
	平年	25.5	197	3.5	32.6	6.4
たかやまもち	本年	24.7 (89%)	110 (59%)	4.0 (+0.4)	33.3 (+3.0)	5.8 (-0.5)
	前年	26.0	134	3.4	27.6	5.0
	平年	27.9	187	3.6	30.3	6.3
ひだほまれ	本年	23.6 (82%)	100 (55%)	3.7 (+0.2)	31.5 (+1.2)	5.7 (-0.7)
	前年	27.2	93	3.4	27.1	5.1
	平年	28.7	182	3.5	30.3	6.4

栽培条件: 移植5月15日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間(H24年~H20年)の平均値

( )内の数値は対平年値

## 2. 生育状況と当面の管理

### 1) 気象概況

気温は、平年より高めとなっている。特に5月第5半旬は、日最低気温が平年より低く、日最高気温及び平均気温は平年より高く、1日の気温差が非常に大きく推移した。梅雨入りは5月28日ごろ(平年より11日早く、昨年より11日早い)と発表されたが、その後の降雨の日は少なく好天が続いている。

### 2) 生育状況

草丈は、平年対比82~92%といずれの品種も短めとなっている。

茎数は、「コシヒカリ」「たかやまもち」「ひだほまれ」が平年の50%強と、平年よりかなり少なくなっている。

葉色は、いずれの品種も濃くなりつつあり、葉色板、SPAD値とも平年より値が高くなっている。

葉齢は、いずれの品種も平年より0.6令程度遅れている。

相対的に、現時点では「コシヒカリ」が軟弱気味の生育となっている。

### 3) 病害虫等の発生状況

雑草は、5月第6半旬になり初期発生がみられるようになった。藻類や表層はく離はそれよりもやや早くから発生が見られた。このことから表層はく離により雑草の発生が確認できなかったことが考えられ、はく離の下の層で雑草の生育が進んでいることが考えられるため、今後注意を必要とする。

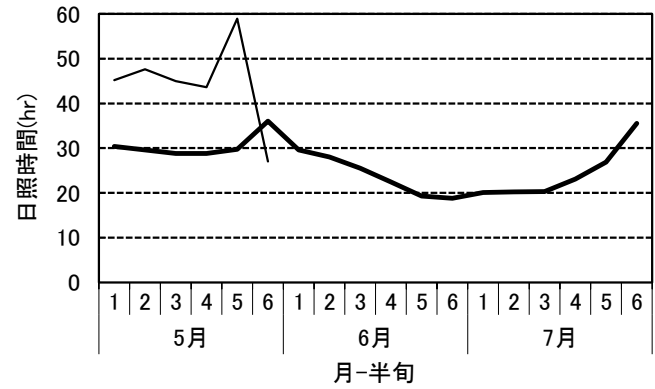
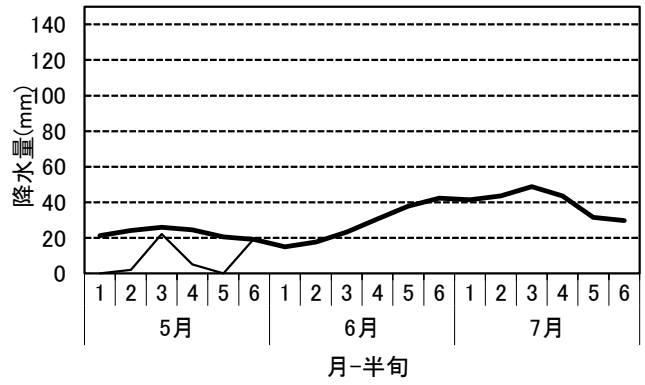
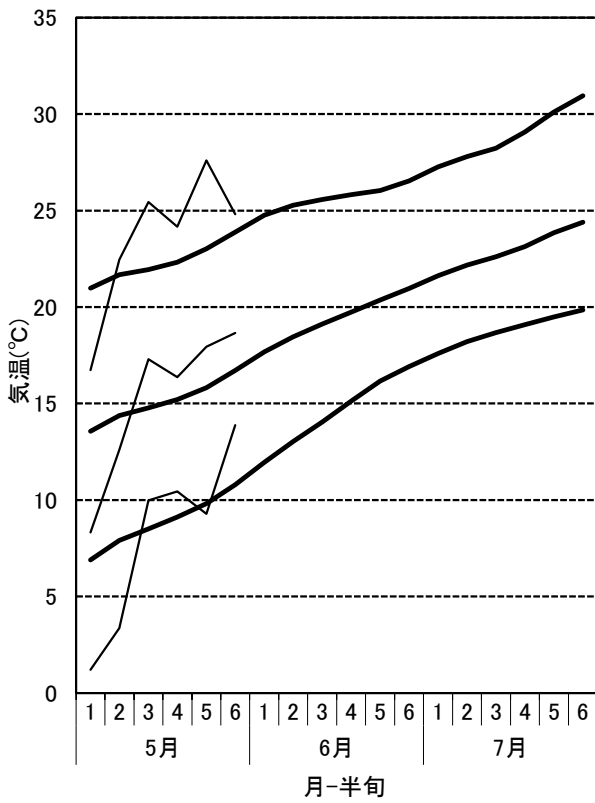
イネミズゾウムシによる食害痕が昨年と同時期の5月第6半旬になり散見されるようになった。

### 4) 今後の管理

生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策のため、早期中干しを実施すると良い。早期中干しによる除草剤の効果の低下も心配されるが、落水の後2~3日干し入水する。干し加減は、田面に細いヒビが入る程度で、決して干し過ぎず田面を軽く固める程度とする。早期中干しの後は、間断かん水とする。

生育の遅れは、これから回復すると思われるため、当面追肥は見合わせた方が良い。低温の心配がなければ、浅水で管理し地温の上昇に努めることで生育の促進が期待できる。

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 5月31日現在)



— 平年(1981~2010年) — 本年(2013年)

岐阜県中山間農業研究所  
 TEL 0577-73-2029  
 FAX 0577-73-2751  
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>